

山形県情報化推進協議会 平成 17 年度プロジェクト
ウーマンズ IT スキルアップ促進検討プロジェクト
～ 女性と IT に関わる実態調査～

調 査 報 告 書

平成 16 年 8 月～平成 17 年 3 月

実施団体：Win SUPPORT 山形

【プロジェクトの目的】

女性（特に主婦層）は、家事や子育てなどの家庭役割によって、一般におこなわれている長時間・長期間の IT 講座へ参加できない場合が多い。本プロジェクトは、女性のための IT 講座について検討し、現代の女性のニーズに応えた IT 能力向上の場を提供することを目的とする。

【プロジェクト概要】

目的； 女性の IT 利活用能力の現状把握と適切な講習計画

方法； グループフォーカス・インタビュー（参加型問題解決調査法）

ファシリテーターの質問に対して、参加者個人が考えを書き出し、その後、グループワークによって意見を集約するタイプのインタビュー法で、KJ 法や開発援助のための PCM（Project Cycle Management）などを、本目的にあわせてアレンジしたものである。個々人が 1 枚の付箋紙に単文を書き出し、模造紙にグループ全員の付箋紙を貼りだして、類似するものを集めるのが基本的な作業である。対象者同士が「問題」に「気づき」、自らが解決法を模索するのに役立つ方法である。

対象； IT 活用層のグレーゾーンに位置する方（IT への関心を持っているが使わなかったり抵抗がある人）を調査対象とした。IT を積極的に活用する層には講座が必要ないし、反対にブラックゾーン（IT 忌避層）に講座に対する関心をもたせるのは難しい。グレーゾーンは、背中をちょっと押してやることで IT 活用層になりうるため、費用対効果が高い層でもあり、調査対象として設定した。

内容； 2 問設定した。Q1；「IT」ときいて思うこと、Q2；どのような IT 講座があればよいか。

日程； （1）準備検討会、開催準備：8 月～9 月

（2）実施：11 月～翌年 2 月 3 回実施（村山地区）

（3）考察及び報告書作成：12 月～翌年 2 月

1. 会議・インタビュー実施報告

(1) 準備検討会

グループフォーカス・インタビューの手法やその準備について、山形大学教育学部の河野銀子氏に指導を仰ぎ、準備検討会を開催した。

- ・第1回：平成16年8月25日(水) 10:30～12:00 ウィンサポート山形事務所
インタビュー調査の手法、調査概要について
- ・第2回：平成16年9月9日(木) 10:30～12:00 山大河野先生研究室
調査実施のための準備について
- ・第3回：平成16年10月26日(火) 10:00～12:00 山形市男女共同参画センター「ファアラ」
調査シミュレーション、最終確認

(2) 実 施

インタビュー調査は、山形市男女共同参画センター「ファアラ」5階研修室において、下記の3回に分けて実施した(第1回・第2回については、託児付)。なお、グループワークの結果を<>に示したので、参照されたい。

- ・第1回：平成16年11月6日(土) 10:00～12:00
【Aグループ】20～30代 4名 (資料1-A)
【Bグループ】40代 4名 (資料1-B)
【Cグループ】50～60代 4名 (資料1-C)
- ・第2回：平成16年11月27日(土) 10:00～12:00
【Aグループ】20～30代 4名 (資料2-A)
【Bグループ】40代 4名 (資料2-B)
- ・第3回：平成17年2月19日(土) 15:00～16:30
【Cグループ】50～60代 4名 (資料2-C)

計24名

(3) 考 察 会

調査結果をふまえ、考察会を開催した。

- ・第1回：平成17年3月9日(水) 10:00～12:30 山大河野先生研究室
- ・第2回：平成17年3月25日(金) 10:30～12:30 ウィンサポート事務所

2. 調査結果

3回に分けて実施した「グループフォーカス・インタビュー」では、2つの質問に対して個人作業と共同作業をしてもらった。質問1は「ITと聞いて思うものはどんなことか」、質問2は「どのようなIT講座があればよいと思うか」であった。グループごとの結果は、資料に示したので、以下ではそれをもとに結果の概要を述べる。

(1) 年代層での差異

今回の調査では、年代層別に班を分け、Aグループを20~30代、Bグループを40代、Cグループを50~60代とした。高年代層よりも低年代層の方がITに対して積極的ではないかという予想があったのだが、実際には年代別での差異は感じられなかった。「低年代層が子育て世代でもあり、家庭にいとITに触れ合う機会が少ない」、「高年代層は子育て等がひと段落して家庭から一歩外に足を向けている世代であり、ITにも積極的になることができる」という背景から、むしろ高年代層の方がITに触れ合う機会があるのではないかとと思われる。

(2) 質問1「ITと聞いて思うものは、どんなことか」

年代に関わらず共通している回答として、良い評価も悪い評価もあった。前者は「便利」、後者は「不安(抵抗)」、「時間」、「費用」に関することが多く挙げられた。

「不安(抵抗)」の内容は、「操作が難しそうだと覚えられない」(資料2-1B)、「横文字がたくさん並んでいてわかりにくい」(資料2-1A)、「身近なようでわからない」(資料2-2A)など、操作の難しさが原因のものと、「安心ができない」(資料2-2C)、「ボタン1つの間違いで被害者になるかも」(資料2-1A)、「仮想空間が面白くもあり怖くもある」(資料2-2B)などのIT生活に対する不安が原因のものの2種類に分けられた。

「時間」については、「すごく時間がかかる」(資料2-1B)、「費用」については「パソコンにかかる経費がもっと安くなればよい」(資料2-1A)などの回答があった。時間やお金をかけるほどの必要に迫られていないためであるとも思われるが、子育てや家事で忙しい時期に経費や時間を割けない事情も伺える。

ITは便利であるという認識があるにもかかわらず、操作の難しさやITに対する心理的抵抗、時間やお金がかかるというマイナスイメージが消極的にさせていることがわかる。

しかし、「就職に必要な最低限の使い方を知りたい」(資料2-1A)、「仕事をする上で必要不可欠なもの」(資料2-2A)など、将来的にはITを覚えなければならないと感じている回答もあり、必要に迫られた時にどのような形でITの技術を習得することができるかが女性のIT推進の鍵ではないだろうか。

(3) 質問2「どのようなIT講座があればよいと思うか」

この質問に対しても、年代に関わらず、「時間」、「費用」、「内容」についての回答が多かった。例えば、「午前中だと出やすい」(資料2-1B)、「無料講習会」(資料2-2B)、「個人により求めているものが違うので、個別講習がよい」(資料2-1C)などが挙げられた。

「費用」については、家計を逼迫することを嫌う主婦の考えとして「無料」を期待するのは妥当と思われるが、必要性を感じれば無料でなくとも参加すると思われる。

「時間」については、乳幼児については託児が必要であること、幼稚園児以上の子を持つ場合は子どもが帰宅する前の時間帯まで（午前中）の参加が可能であるためと思われる。

「内容」については、「主婦のパソコンサークルがよい」（資料2 - 2 A ）という回答から「学校に行って基礎からきちんと学びたい」（資料2 - 1 A ）という回答まで、ニーズの多様性が感じられる結果となった。

また、質問1にも講座に対して参考になる意見があった。例えば、「子育て中でも通えるような講座をやってほしい」（資料2 - 1 A ）というような講座の「形態」に関することや、講座以前の問題として「自分のパソコンがない人のための、いつでも無料で使える場所があるとよい」（2 - 1 C ）などの回答がみられた。これらから、パソコンに触れる機会や場所がないためITに触れられないという現状も、ITから女性を遠ざけている一因ではないかと思われる。

3. まとめ

以上の結果から、女性がITから遠ざかっている主な要因として、「時間」「費用」「内容」「形態」の4点があげられよう。したがって、現代の女性のニーズに応えた「女性のためのIT講座」を計画するにあたって、次のような観点が重要である。

時間；平日午前中

費用；無料または低料金であること

内容；多様なニーズ（レベルや目的）に合わせた内容

形態；少人数や個別対応

女性がITに対して、「操作の難しさ」や「ITに対する不安」を感じていることは先に見たとおりだが、こうしたことも や の中に想定して講座を計画する必要があるだろう。現在の無料講座の多くは、20名程度と比較的人数が多いため、たとえ無料であっても、心理的抵抗が大きい女性には参加しにくいのが現状である。例えば、「パソコンをさわってみよう」というような心理的抵抗を解消させる初歩的な講座を、少人数制で実施するなどの工夫は、女性のIT推進に大きな意味を持つであろう。

また、このグループフォーカス・インタビューの参加者から「自分がITについてどう思っているのかわかって楽しかった」「ITについてもうちょっと積極的になってみようかなと思った」という感想もいただいた。ITに対する認識を改めて見直すきっかけになったようである。

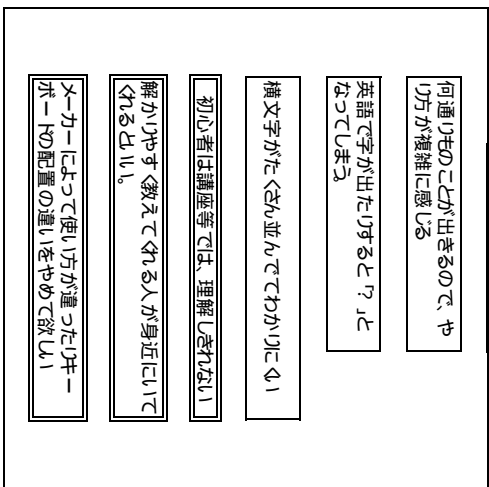
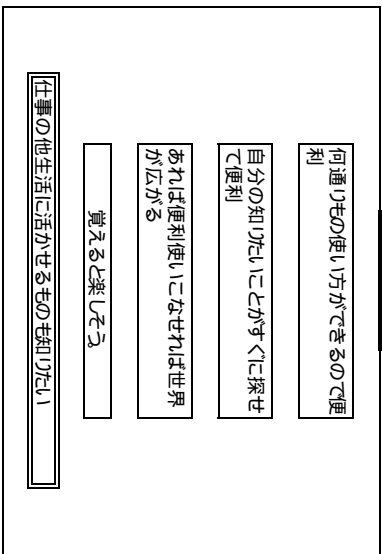
今回の調査では、対象者をグレーゾーンに設定し、幅広い年代層からITに対する意識を聞くことができた。この結果を次年度からのIT推進活動に繋げていきたい。

【ウーマンズ ITスキルアップ促進検討プロジェクトメンバー】

助言者 山形大学教育学部・教育社会学 助教授 河野 銀子

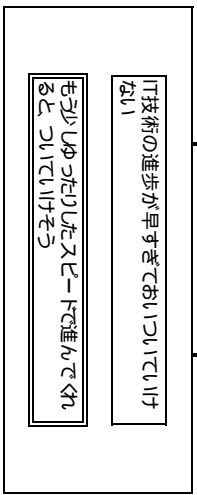
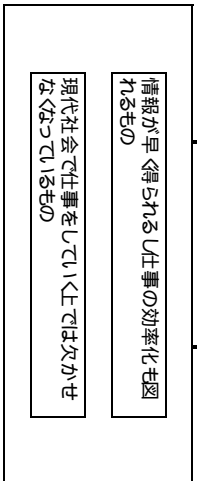
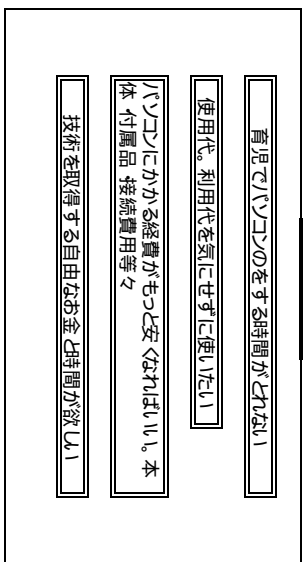
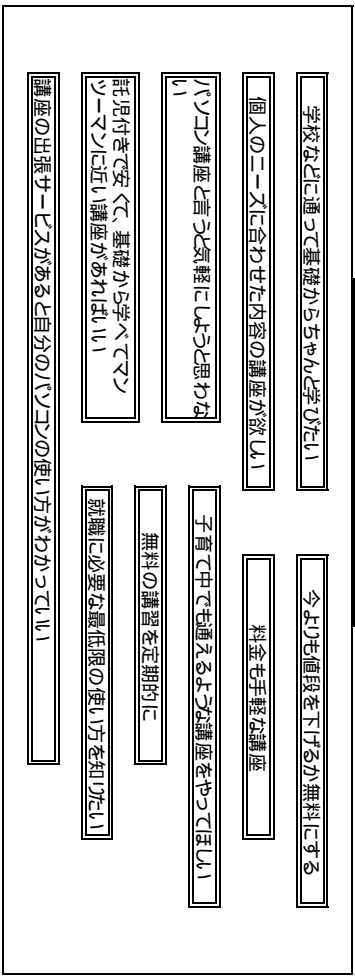
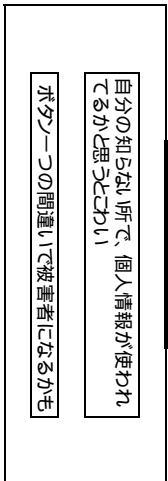
Win SUPPORT 山形 ITPJメンバー

石山由美子、菅野美奈子、佐藤昌子、佐藤直子、服部暁美、玉木ひとみ、遠藤美江、海谷美樹



自分専用のパソコンがほしい

ITという言葉自体の意味がわからない



使えなくても生活に支障が無い場合、苦労してまで覚えなくていい

関心が無かったり覚えようと努力しない

小学校の低学年の早い段階で授業に義務的に取り入れる。

運転免許と同じくらい、生活に必要なものになれば誰もが覚えざるを得なくなるので、講座や学校が増えればいい

講習会に期待すること

講習会が近くの公民館などで無料だと主婦はうれしい (**)

午前中だと出やすい (習いやすい)

今は小学校から教えているのだから1家に1台、国で支給する。家がないのでは、何のために学校でしているか分からない。

使いこなす為に具体的にどんなことができるか教えてほしい

必要性

原稿をパソコンで作られたらいいと思う

社会人としてできることが必須条件のような世相にせりを感じる

知らない人人間関係が狭まるよう不安

女性 (主婦) は楽しみながらできるネットはあると思います。(仕事でいやいやさわるのどちらかい)

使えるようになれば便利が良いと思う

自由に使いこなしたい

子供には小さいうちから習得してほしいと切に思う (将来のためにも)

もっと勉強しなければならぬ 情報を得ることのメリットは感じるか

就職には絶対必要 (?) ですよ

今から必要なこと

やってみると楽しいかも...

ネットでの買い物もしたいが、なんか不安

家計簿などつけたいと思ってる

子供の成長などもグラフにするとおもしろいかも

こうなれば使えるかも...

操作がかんたんにできる機会があればよい (**)

意外とやさしいと思える導入部が必要では??

携帯のように持ち歩きにもう少し便利さが欲しい

仕事でさわるなど必要にせまられれば覚えられそう (趣味だから1つまでを初め)

1人1台の利便性だともっと気軽にさわれるのでは

ノートパソコンの小型化、軽量化、低料金が普及の条件では? (***)

利用の状況

5年前ぐらいに講習を受けた

今は、メールをたまに打つぐらい

インターネットは、天気や旅行など調べるとき使っだけ

テレビで見た あるいは 調べる

すぐに印刷できるのていつでもできると

ゲーム

利用しない理由】

時間をたくさん取れないので敬遠しがちな

覚えたいけれどパソコンを開く向き合う時間が家にないかな?

すぐ使っていると目が悪くなるそう

家にいる時間がないとデスクトップは意味がない

時間的にも経済的にも余裕がないとできない (**)

いろいろな事をやってみたいが、時間がな

どの略だっけ?

ウイルスなども心配

すぐ忘れてしまう

覚えることがたさんあ、難しそう (操作方法にまず拒否反応)

主婦からのデメリット
長使っていると目が悪くなるそう
生活の面からお金がかかりそう
種類が多すぎてどれを選んだらよいのか分からない

(直線枠 問1 二重線枠 問2)

講習会

講習会の内容は多岐にわたった方がよい	マンツーマンで教えてくれる
高度な仕事に即結びつ内容がよい(****)	短い時間に学べられるとよい
個人により求めているものが違うので、個別講習がよい	
困った時いつでも電話相談できる所があるとよい	もっと専門的に学びたい
身近に講習があればよい(****)	講習時間10:30～15:30位だと無理がない
講習は単発的なものとそこから発展させていくものがあればよい()	
「トラブルを解決する講習がほしい	無料でよい理想的
なぜITが必要なのか、自分はそれで何をしたいのか、しっかりと目標を持つ事が必要	

便 利 さ

自分専用のパソコンがあればよい()	HPの日記が見られる
趣味に用いる	友達が出来るとよい
美味いお店が探せる	視野が広がる
読書や音楽が聴ける	伝達が早く、世界が小さくなる
世界の情報を家に居ながら入手できる	メールのやり取りは便利
何でも出来て便利	日常の分らない事を探す辞典になる()

全体的なメリット

老後を暮らす上でITは、手とり足となり
 無限の可能性がある
 自分の世界が広がる

仕 事

覚えてしまえば仕事もできる様になるかと
 講習を受講後、仕事につながるという()

経 費

自分のパソコンがない人の為の、いつでも無料で使える場所があるとよい
 持ち運びが楽な小型化だと便利()
 一室に一台回で配布する
 安く気軽に説明書付でリースできるとよい
 パソコンの購入代、毎月の使用代、講習代等大変そう

不 便 さ

使い方が簡単な、シンプル操作だとよい()
 長時間使えば目が悪くなる
 年齢的に覚えられない不安
 利用している機能は1%以下
 コニバーサルデザインのパソコンが、発売されてほしい
 簡単に使いこなせない
 機械に若干興味はあるが、覚えるのが億劫
 小型で安い製品を使いたい
 情報が多々煩わしい
 使い方が困難だから、携帯電話や電卓の様になってほしい
 検索で言葉を入れるのも難しく、目的の所まで辿り着けない

仕 事 が ない

高齢者にもパソコンの仕事があればよい
 仕事に結びつける方法が分らない

格 差

利用できない人は、情報が少なくなる
 メールは一方方向なので返事がすぐ来ないと寂しい

ITと関わり

所詮は道具だから、パソコンは絶対に必要なものという認識を変える()
 日本の国は将来、ITで支えようという風に思っているのかを知りたい(****)

危 険 さ

万全なセキュリティがない(****)
 危険かなければよい
 メールアドレス等は危険をはらんでいる
 便利さの中の危険
 チャットは相手が本気で話さないから危険
 (百線機 問1 一重線機 問2)

不安要素

不安要素

個人情報の管理が自分の知らない所でいつの間にか恐ろしい事になりそうなの不安がある()

お金がかかる。通信するにも通信料を払えるにしても、よく考えなくてはならない。一瞬にして画面が消えなければ不安はなくなる

ニュース等で聞くと自分の分らない所で情報が残れているよう不安

Yahooで情報残れの事件があった時Yahooからこのよう書はどの会社でも多少ある事と言われニュースが怖い

料金がよ分からぬ

メリット

メリット

未来の生活が豊かで便利になる印象

今は学校で教えてもらい、卒業する時にはみんな使えるようになってきているもの

使い方をマスターすれば色々な事を見られ実現可能なツールも人の道具のような仕事をすることで必要不可欠なもの

情報

情報

情報をやや取りでできるMLをもっと身近に普及させてほしい

市報などに面白HP、工夫した使い方を紹介してほしい()

アクセスすると、テレビや無料講座が付いてると良い

主婦個人のHPを一括で見られる様、大きなHPでリンクをまとめてほしい

怖い事が多いので、市や県で管理しているパソコン情報の発信をお願いしたい()

身近な情報の交換収集ができるHPを増やして欲しい

必要性

必要性

必要があれば

常にすぐ使えるようにしておく

家にパソコンがあれば()

もっと簡単に使いやすくなれば

パソコン講座

パソコン講座

基本的な操作から段階をおって教えてもらえる機会がほしい()

身近に教えてくれる人がほしい()

PCの英数字が日本語なら分かやすいと思う()

わからない時、そこに行けばいつでも親切に教えてくれる場所があればいい

無料での絞った講座を受講したい。CAD、Javaなど具体的に

学校に行きたいけど高くて行けない

使いたい方法をおぼえて

パソコン教室はプログラムに沿って進むので、習った事が現在必要ないです<忘れてしまう

パソコンを教える無料教室がもっとあるといい()

主婦のパソコンサークルがあればいい

パソコン教室に行ったら一回千円で、お金がかかかなかった

わからない時すぐ聞ける人が身近にいればいい

人間性

人間性

情報が豊かになる反面、人との繋がりも薄くなる

PCばかり使っていると、字がわからなくなる

五感を働かせる事がなくなる

時間

時間

パソコンに向かう自分の時間がほしい()

パソコンに沢山触れる

わからない事

わからない事

ITとよ目にすることが多いけれど、身近なようではない

範囲が広くて興が深い、覚えるのが大変で分からない事が多い

普通の生活で必ず必要なものではない、無くてもどうにかなるけど興味があればその価値も分からない()

必要は感じており便利だと思うけれど使いこなせない

漢文字が多いので、分かりやすい表現だと使ってみたいと思う

どんなものを習ったらいいか、教えてくれる人がほしい()

ローペーターはどこがいいか、この料金プランがお勧めか知りた

資金面

資金面

料金システムが理解できれば

最新の物に買い換える購入資金がほしい()

不用品を安く取り合えるシステムがあれば

もう一台ノートパソコンを買い持ち替える様にする

パソコンのレンタル、クラウドやスマホでも()

イメージ

イメージ

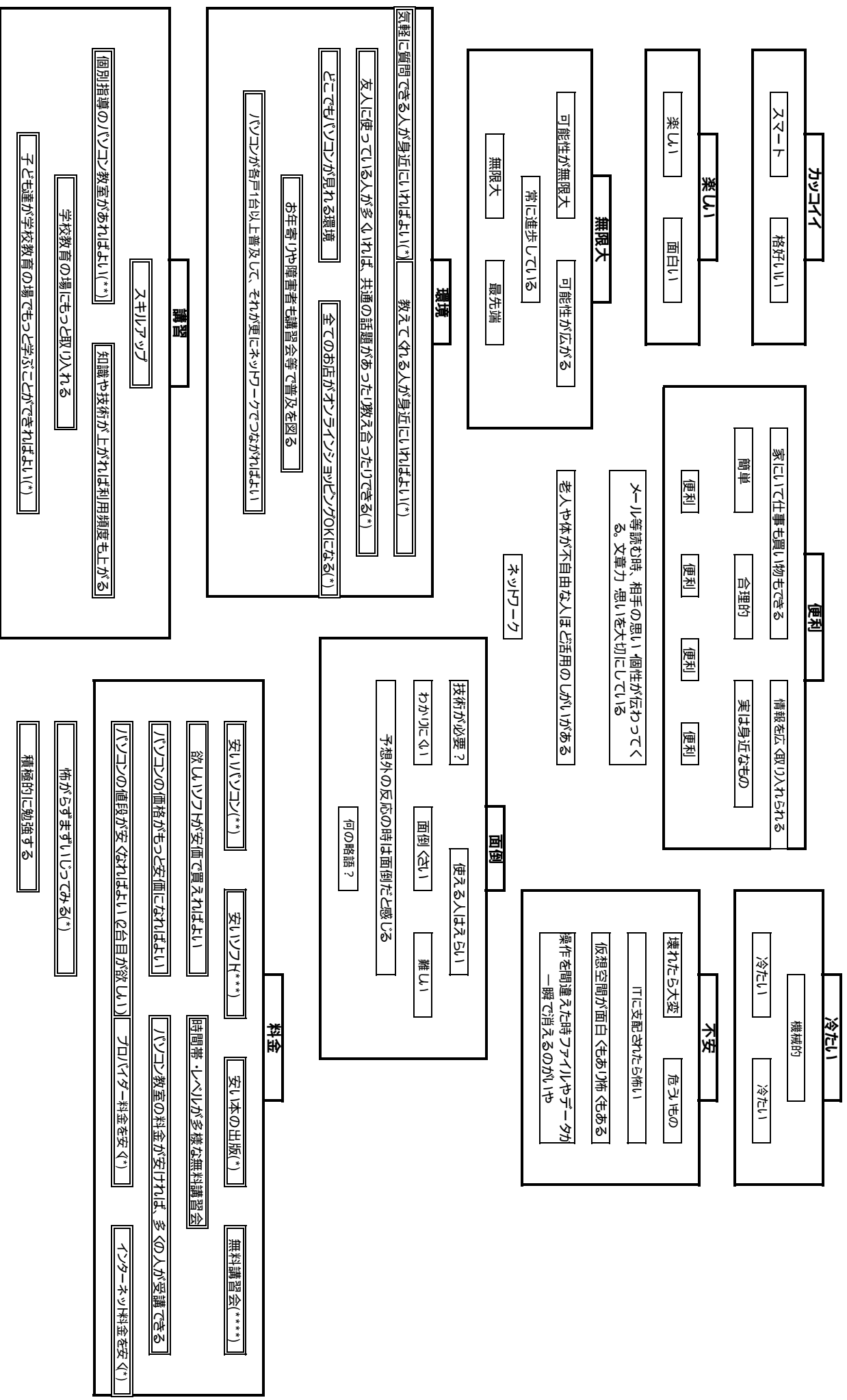
パソコンやコンピュータ

ニュースでよく目にする言葉

イメージ

イメージ

イメージ



つかいかた

持っている	接続している	用語等、日本語での意味が理解できるように
娘に頼っている	検索	情報
便利でよいでしょうが操作がわからない	未熟	使えば便利とは必ずしも言えない
機種によって使い方が変わるのはいかがでしょうか？	すべてにおいてより簡単に(*)	携帯電話にカメラはいらない
		検索エンジンが簡単に
		企業側ではなく、個人向けのメニューにあわせてほしい
		簡単操作

犯罪と規制

犯罪 (***)	扱い注意 (*)	モデムアラリテラシー(*)	一面困る(**)
規制 (**)	インターネットで予想外のサイトにいくと困る(*)	気分により不出になる	安心ができない
便利だが、むしろかみじと	携帯の相手番号表示 よい点と悪い点あり		

業者もつかる

IT長者	新しいものがほしなる	機種の安価	安価
青年実業家	高い	安価になればいい(*)	
女優		通話料の安さ	
ITお金もちができそう	処理するのが大変(お金)		

メール

メールでは言葉を選ぶ(*)	メールのことがおぼつかない	メール直接会話を回数が少なくて済む(*)
メールがないと仕事ができない(*)		

便利

レポート修正には便利	早く何でもわかる	
情報入手には、絶対必要になつてきた	便利 (× 4枚)	
必要 (× 2枚)	日用品	使っている
必要不可欠	電話帳いらすず(*)	
水におどすと使えるようになる	ないけど不便	
水にぬれるとこわれる		

必要なし

わからない	特にわからない
便利でよいが今は必要なし	
特に必要なし	
特になし	